

令和4年度

施策確認シート個票

岸和田市産業活性化推進委員会

基本方針	基本方針1 連携・協働する場づくりと展開支援
施策名	1-1) 異業種・同業種交流の促進
取組概要	①市内の協同組合などの会合において、市がオブザーバー参加することにより、交流・連携の展開に関する事業者ニーズを把握します。 ②各種団体が集まるような市内の会合などでは、出席同士が交流できるような環境づくりに取り組みます。 ③金融機関などによる異業種・同業種交流会を市内事業者が積極的に参加・活用できるように働きかけます。 ④市が主催する既存の異業種交流会については、参加メンバーの意向に基づいて進めることを基本としながら、市内外の他の異業種団体等組織間での交流を促進し、新たなきずかけづくりに取り組みます。

取組1	交流・連携の企業ニーズの把握と環境づくり(取組概要①②③)										
内容	会合などへ参加の際、企業間交流・連携へのニーズ把握を行い、環境づくりに取り組む。 【H29】青年会議所主催「異業種交流会」に参加(他団体との交流) 6/6 【H30】大阪鉄工金属団地協同組合主催の避難訓練に参加し、組合会館より産業会館まで災害時の想定をしながら一緒に歩いた。 3/12 【R1】内閣官房国土強靱化推進室が実施する官民連携型BCPの策定支援対象に、大阪鉄工金属団地協同組合が選ばれ、当該組合企業、電気・ガスなどのインフラ関係機関、大阪府関係部署、市関係部署(産業政策課、危機管理課、建設管理課、高架事業・道路整備課、上水道工務課)が集まり、事前会合及びワークショップを開催して情報交換を行った。 9/19、11/22 【R2】内閣官房国土強靱化推進室が実施する官民連携型BCP策定支援事業の推進が2年目に入り、大阪鉄工金属団地協同組合の企業、事務局と、大阪府関係部署、岸和田市産業政策課、危機管理課が参加し、情報交換を実施した。10/14、11/27 【R3】木材港地区貯木場の利活用ニーズのヒアリングにあわせて、コロナ禍における事業活動の現況や今後の展開などをヒアリングした。 ヒアリング先: 岸和田市工業センター協同組合、一般社団法人 大阪木材コンビナート協会、鉄工金属団地協同組合										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
会議等出席回数	-	-	-	1回	1回	2回	2回	3回			
-	-	-	-	-	-	-	-	-			
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											
実施期間(実績)											
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	市が協同組合等の会合に積極的に参加し、交流・連携の環境づくりに取り組む。また、各種団体が集まる会合で交流会の情報提供を行う。										

取組2	岸和田市異業種交流会の推進（取組概要④）										
内容	岸和田市異業種交流会では、年4回の定例会で、会員企業による会社案内プレゼンを行い、同会活動について意見交換を行っている。活動内容は、会員の意向を反映したプロジェクトを分科会として不定期で開催し、「苔プロジェクト」「転倒防止剤普及活動」「施設・工場見学会」等のプロジェクトを進め、交流の推進に努めている。 「苔プロジェクト」を通して、屋根などの苔緑化によって、例えば電気料金の低減などの効果を見出し、製品化・商品化の可能性を模索するとともに、苔を使った商品の開発やマーケティング等、自社でも活用できるスキルを身に付ける。商品化にあたり、消費者の意見聴取を行うため、各種イベントへ出展している。 また、「施設・工場見学会」の実施によって、企業間交流やマッチングを図る。 【H28】 ・岸和田市異業種交流会（定例会） 6/21 8/31 12/7 3/16 （企業間課題解決マッチング、分科会報告） ・岸和田市異業種交流会（分科会） 7/1 7/27 10/1 10/11 11/4 1/16 2/7 2/27 （各プロジェクトの推進） ・産業フェア出展（苔テラリウム体験実施） 11/13 ・和歌山大学学園祭（苔テラリウム体験実施） 11/19,20 ・佐竹ガラス株式会社見学会 2/7 ・KISHIWADA X出展（苔テラリウム体験実施） 3/5 ・苔テラリウムの商品開発に向け検討している。 ・商品開発において学生の意見を参考にするため和歌山大学との連携について協議（他団体との交流）。7/27・8/8（和大サテライトと協議）、 8/22（和大で産学連携センターと連携について協議）9/29（和大サテライトと協議）、10/6（和大で打合） 【H29】 ・岸和田市異業種交流会（定例会） 4/26 8/8 1/26 3/26 （企業間課題解決マッチング、分科会報告） ・岸和田市異業種交流会（分科会） 6/1 7/5 9/26 10/25 （各プロジェクトの推進） ・青年会議所主催「異業種交流会」参加（他団体との交流） 6/6 ・屋根の緑化プロジェクト実施（会員：株式会社 成田システム研究所所有サーバールームの屋根） 6/17 ・CYCLE PARTY 2017（KCP主催イベント）出展（苔テラリウム作成体験実施） 7/22,23 ・産業フェア出展（苔テラリウム作成体験実施） 11/12 ・松浪硝子工業株式会社見学会 3/14 【H30】 ・岸和田市異業種交流会（定例会） 4/25 9/27 1/24 3/15 （企業間課題解決マッチング、分科会報告） ・岸和田市異業種交流会（分科会） 5/22 6/12 7/11 8/6 10/11 10/30 （各プロジェクトの推進） ・CYCLE PARTY 2018（KCP主催イベント）出展（苔テラリウム作成体験実施） 8/25,26 ・産業フェア出展（苔テラリウム作成体験実施） 11/11 ・広光印刷株式会社見学会 2/26 【R1】 ・岸和田市異業種交流会（定例会） 4/17 8/19 2/17 3/25 （企業間課題解決マッチング、分科会報告） ・岸和田市異業種交流会（分科会） 5/23 7/3 9/24 （各プロジェクトの推進） ・あじさいフェア（蜻蛉池公園）出展（苔テラリウム作成体験実施） 6/9 ・とんぼ池・子ども夏祭り出展（苔テラリウム作成体験実施） 8/4 ・ローズフェア（蜻蛉池公園）出展（苔テラリウム作成体験実施） 10/27 ・産業フェア出展（苔テラリウム作成体験実施） 11/10 【R2】 ・岸和田市異業種交流会（定例会） 6/29 11/10 3/26 （企業間課題解決マッチング、分科会報告） ・岸和田市異業種交流会（分科会） 9/3 10/13 11/16 （各プロジェクトの推進） ・勉強会（フリザーブドモスに関するワークショップ）11/24 【R3】 ・岸和田市異業種交流会（定例会） 7/15 11/9 1/13（企業間課題解決マッチング） ・岸和田市異業種交流会（分科会） 6/18（コロナ禍における異業種交流会開催方法等意見交換） ・有志勉強会（竹あかり製作に向けた取り組み） 11/26 1/26 1/31 2/12 3/20 ・ゆめみが丘まちびらきフェスタへの竹あかりの出展 3/27										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	60(3,000)	120(3,000)	120(3,000)	280	280	280	280	0	・平成28年度までは、異業種交流会事業のほか、中小企業診断士が企業訪問や施策のファックス配信を含め、ビジネスプロモーション事業として業務委託していた。（ ）内はビジネスプロモーション総事業費である。 ・平成28年度下半期より、中小企業診断士による企業訪問や施策のファックス配信を廃止し、異業種交流会事業のみ委託を継続している。 ・令和2年度をもって中小企業診断士によるファシリテーションにかかる予算が終了となった。		
決算額	60(2,986)	120(3,000)	200(1,492)	280	280	280	210	0			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
異業種交流会開催回数	2回	4回	4回	4回	4回	4回	3回	3回			
異業種交流分科会開催回数	9回	7回	7回	4回	6回	3回	3回	1回			
異業種交流会参加企業数（4月1日現在）	16社	16社	17社	17社	17社	17社	14社	16社			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											
実施期間（実績）											
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	引き続き異業種交流会事業を推進し、取組内容の見直しや充実を図る。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ <u>現状のまま継続</u> ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 岸和田市異業種交流会については、会員に主体性も持ってもらいながら、会の趣旨及び目的を共有して事業を行うこと。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

取組2	大阪府立大学や和歌山大学、大阪産業技術研究所などの研究会の紹介（取組概要②）										
内容	【H27】 ・大阪産業技術研究所、近畿職業能力開発大学校を訪問し、支援制度や研究会についての最新情報を確認した。 【H28】 ・大阪産業技術研究所が実施する医工連携事業について 9/1実施された「医工連携オープニングフォーラム」の後援を行った。 医療施設・丘陵地区関係企業へ情報提供。岸和田商工会議所所報に挟込を依頼。 医療健康機器開発研究会の発足について、大阪産業技術研究所と協議 8/16(参加団体 東大阪市・和泉市・岸和田市・産技研) ・岸和田市異業種交流会において、苔テラリウムの商品開発に向け検討している。商品開発において学生の意見を参考にするため和歌山大学との連携について協議。 7/27・8/8(和大サテライトと協議)、 8/22(和大で協議)、9/29(和大サテライトで協議)、10/6(和大で打合) 【H29】 ・和歌山大学産学官見学交流会をメールマガジンで紹介 5/1 【H30】 ・大阪産業技術研究所が主催する中小企業のためのサイバーセキュリティセミナーをメールマガジンで紹介 【R2】 ・わだいい岸和田サテライトを訪問し、岸和田の特産品(岸和田ブランド認定品)についての情報交換を実施した。 【R3】 MOBIO担当者と岸和田ビジネスサポートセンター センター長との意見交換を実施した。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
支援機関等を訪問	2件	3件	6件	-	-	-	1件				
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間(実績)											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	様々な研究会の情報提供ができるよう努める。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 協同組合等へのヒアリングにあたってはニーズをよく把握すること。 大学等との連携については、コーディネーター等アプローチ先をよく検討して紹介・把握すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針1 連携・協働する場づくりと展開支援
施策名	1-3)プロジェクト型連携の促進
取組概要	・既存の異業種・同業種交流会がテーマを設定して取り組む、農商工連携などの事業に対して、国や大阪府のプロジェクト型連携の補助金支援メニューを紹介します。

取組	プロジェクト型連携の促進										
内容	【H26】 ・大阪府に「彩誉(あやほまれ:岸和田生まれの人参)」「岸和田の竹」を地域産業資源の指定追加の申し出し、指定を受ける。 ※中小企業が府が指定した地域産業資源を活用した事業計画を策定し国の認定を得ると、新商品開発にむけた補助金等の支援対象になる。 【H27】 ・岸和田市異業種交流会で池田泉州銀行のニュービジネス補助金の紹介(8社)。 5/26 ※異業種交流会で補助制度を紹介し、今後、補助金等の活用も視野に入れ事業展開を図る。 ・中小企業者・小規模事業者関連施策説明会の実施(国のものづくり補助金・持続化補助金、中間支援について説明)。 3/23 参加 44社 52名 ・大阪府に「だんじり彫刻」を地域産業資源の指定追加。 ※中小企業が府が指定した地域産業資源を活用した事業計画を策定し国の認定を得ると、新商品開発にむけた補助金等の支援対象になる。 【H29】 ・創業者ステップアップ交流会で国等の補助金の紹介(12人)。1/24 【H30】 ・先端設備導入計画の受付を開始し、37件認定。 【R1】 ・ニュービジネス補助金を企業支援メールマガジンで紹介。10/1 ・先端設備等導入計画について、41件認定。 ・地域産業資源の相談が1件あり、申請に向けて支援を行う。 【R2】 ・先端設備等導入計画 27件認定。 ・地域産業資源に「日本茜」が登録された。 ・毎月メールマガジンにて国、府、市に関する補助金(コロナ関連を含む)を紹介(全13回)。 ・岸和田市6次産業化推進戦略を策定し、市内事業者が利用できる補助金支援メニューを増やした。 【R3】 ・先端設備等導入計画 47件認定。 ・地域産業資源に「日本茜」が登録された。 ・毎月メールマガジンにて国、府、市に関する補助金(コロナ関連を含む)を紹介(全15回)。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※斜線部分は対象期間外		
補助金支援メニューの紹介				1件	-	1件	13件	15件			
先端設備導入計画の新規認定件数				-	37件	41件	27件	47件			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											
実施期間(実績)											
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	市内の中小企業やその団体がプロジェクト型連携の取組ができる環境づくりを進めている。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 農商工連携などのプロジェクト型連携についても検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針2 新たな取り組みにチャレンジする事業者の応援
施策名	2-1)国プロジェクトへのチャレンジ支援
取組概要	・新製品開発や技術開発に向けた国の競争的資金に事業者が応募する際、その応募情報の紹介や申請書づくり、中間支援機関の紹介などに取り組めます。

取組1	申請書づくり支援(ビジネスプロモーション事業)										
内容	【H27】 市が委託している相談事業で国のものづくり補助金の相談 5件、その他相談7件、電話相談3件。 【H28】 ・ビジネスプロモーション事業を再構築し、多くの企業が新たな取組にチャレンジできる様、事業内容を見直した結果、10月より大阪府よろず支援拠点と連携し、岸和田出張相談会の実施 ・岸和田市出張無料経営相談会の事業内容を理解してもらうため、9/1 プレセミナーを実施し、経営相談をすることによるメリット等について紹介した。参加者 27名。 ・大阪府よろず支援拠点と連携し、10月より月2回岸和田市役所にて、無料経営相談会を実施したところ、21件の相談があった。補助金申請書の添削の対応を含め、様々な経営相談への対応が可能。 【H29】 ・大阪府よろず支援拠点及び岸和田商工会議所と連携し、無料経営相談を実施したところ、22件の相談があった。上半期は、岸和田駅前通商店街や岸和田工業センター協同組合など、市内各企業組合等の会議室にて、月替わりで場所を変えて実施し、下半期は岸和田商工会議所にて実施。補助金申請書の添削の対応を含め、様々な経営相談への対応が可能。 【H30】 ・大阪府よろず支援拠点及び岸和田商工会議所と連携し、無料経営相談会を実施したところ、20件の相談があった。補助金申請書の添削の対応を含め、様々な経営相談への対応が可能。 ・富士市産業支援センター f-Biz センター長 小出氏の講演会「お金をかけずに売れる仕組みをお教えます！」を開催 7/9 参加者80名程度 【R1】 ・令和元年12月までの間、大阪府よろず支援拠点及び岸和田商工会議所と連携し、無料経営相談会を実施し、16件の相談があった。なお、令和2年1月からは、岸和田ビジネスサポートセンター(Kishi-Biz)の開設を控え、出張相談事業は廃止。 【R2】 岸和田ビジネスサポートセンターKishi-Bizの開設により、令和2年度内で999件の相談があった。 【R3】 岸和田ビジネスサポートセンターKishi-Bizにおいて、令和3年度内で1109件の相談があった。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	2,940(3,000)	2,880(3,000)	2,880(3,000)	－	400	-	－	－	【～H28年度】中小企業診断士による企業訪問や施策等のFAX配信・電話相談(異業種交流会事業を除く) ※中小企業診断士がコーディネートを行う異業種交流会を含めたビジネスプロモーション事業として委託している。()内は総事業費。 【H30年度】富士市産業支援センターf-Biz講演会		
決算額	2,926(2,986)	2,880(3,000)	1,478(1,492)	－	400	－	－	－			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※色塗り部分は検討期間		
ものづくり補助金申請相談件数 (ビジネスプロモーション事業)	9件	5件	1件	－	－	－	－	－			
無料経営相談件数	－	－	21件	22件	20件	16件	－				
Kishi－Biz相談件数	－	－	-	-	-	121件	999件	1109件			
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間	――――➡										――➡
実施期間(実績)	――――➡										――➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	多くの企業が相談出来るよう、事業内容を改善し実施している。										

取組2	中間支援機関の紹介										
内容	【H27】 ・中小企業者・小規模事業者関連施策説明会を開催し、中間支援（よろず支援拠点・商工会議所・ビジネスプロモーション事業）の紹介を行った。3/23 参加 44社 52名 ・市が委託している相談事業（ビジネスプロモーション）の周知を図るため広報きしわだ5月号に掲載。 【H28】 ・10月から実施する、大阪府よろず支援拠点 岸和田市出張無料経営相談会の事業内容を理解してもらうため、9/1 セミナー・プレ相談会を実施し、27名参加。当事業の周知を図るため、広報きしわだ(8月号)に掲載、商工会議所所報挟み込み、市ホームページ掲載、市内公共施設や各商店街・事業協同組合にポスター掲示。市内事業者へ通知(126件)、FAX通信(300件)ほか ・大阪府よろず支援拠点と連携し、10月より月2回岸和田市役所にて、無料経営相談会を実施。21件の相談あり。 ・12月から岸和田市企業支援メールマガジンを月1回配信し、国の小規模事業者持続化補助金の支援機関である岸和田商工会議所を紹介 【H29】 ・大阪府よろず支援拠点と連携し、月2回無料経営相談会を実施。22件の相談あり。 ・岸和田市企業支援メールマガジンを月1回配信し、国の小規模事業者持続化補助金の支援機関である岸和田商工会議所を紹介 【H30】 ・大阪府よろず支援拠点と連携し、月2回無料経営相談会を実施。20件の相談あり。 ・岸和田市企業支援メールマガジンを月1回配信し、国の小規模事業者持続化補助金の支援機関である岸和田商工会議所を紹介 【R1】 ・大阪府よろず支援拠点と連携し、令和元年12月までの月1回無料経営相談会を実施。 【R2】 新たな事業再構築補助金について、Kishi-Bizにて特別相談員を週1日で配置し、制度概要や事業計画構築を支援する中、小規模事業者持続化補助金へのエントリーが望ましい事業者に対して、岸和田商工会議所を紹介。 【R3】 様々な補助金や融資について、Kishi-Bizにて制度概要や事業計画構築を支援する中、補助金や融資の申請が望ましい事業者に対し、岸和田商工会議所や地域金融機関を紹介。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等 H27は地方創生先行型交付金を活用した。		
予算額	-	950	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	950	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※色塗り部分は検討期間		
中小企業・小規模事業者関連施策説明会開催回数	-	1回	1回	-	-	-	-	-			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間	―――➡										➡
実施期間(実績)	―――➡										➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	企業メールマガジン等で補助金等を周知する。さらに、相談・問合せ等があった際は、必要に応じて関係機関へつなげます。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 事業内容等に応じた各相談機関との役割分担を明確にして効果を最大化すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針2 新たな取り組みにチャレンジする事業者の応援
施策名	2-2)新商品の優先的公共事業活用の検討
取組概要	・事業者の販路開拓につなげることを目的として、公共事業において市内事業者から新商品を優先的に購入し、使用することを検討します。

取組	新商品の優先的公共事業活用										
内容	・大阪府等他の自治体が行った取組事例について検証を行い、課題等を整理したうえで、関係各課とも情報共有を行い、本市における役務の提供や物品の発注についての優先的な公共事業活用が可能かどうかも含めて施策検討を進める。 【H28】 ・契約検査課と協議し課題整理 10/21										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※色塗り部分は検討期間		
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間			----->				----->				
実施期間(実績)			----->								
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅲ								
	関係各課と協議し、施策の構築に向けての検討を図ったが、他自治体でも導入実績が少なく、制度構築の費用に比べて事業者が受ける便益が少ないと思われるため導入を見送る。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 市内事業者からの調達という、地産地消の観点が良いが、効果が見込まれる他の事業の実施を検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針3 企業立地の促進
施策名	3-1)企業立地促進法に基づく基本計画の推進
取組概要	・「企業立地促進法に基づく大阪府岸和田市地域の基本計画」に基づいて、ちきりアイランド(阪南2区)及び丘陵地区への新規事業所の誘致に取り組めます。 ※ 平成27年3月の岸和田市産業振興新戦略プラン改定後に施策化した「ホテル・旅館誘致条例」に基づくホテル・旅館の誘致促進に係る取組については、企業立地促進法に基づく基本計画に位置付けられた施策ではないが、本市の総合計画等に基づく施策体系において企業立地促進施策の一環とされていることから、本委員会においては基本方針3の3-1)に位置付けて議論することとする。

取組 1	企業立地の促進										
内容	① 岸和田市産業集積拠点(阪南2区、丘陵地区)における支援制度 ○ 分譲の場合 ・土地・家屋の固定資産税相当額を10年間助成(課税免除の対象となる場合は課税免除の適用期間と合わせて10年間の支援) ・償却資産の固定資産税相当額を2年間助成(課税免除の適用を受ける償却資産については3年間の免除) ○ 賃貸の場合 ・土地については、敷地面積1㎡当たり500円を5年間助成 ・家屋の固定資産税相当額に相当する額を5年間助成(課税免除の対象となる場合は課税免除の適用期間と合わせて5年間の支援) ・償却資産の固定資産税相当額を2年間助成(課税免除の適用を受ける償却資産については3年間の免除) ② 岸和田市産業集積促進地区(大阪鉄工金属団地地区、木材港地区、岸和田工業センター地区等)における支援制度 ○ 企業立地促進法の適用を受ける場合 ・土地・家屋・償却資産の固定資産税について3年間課税免除 ○ 企業立地促進法の適用を受けない場合 ・土地・家屋の固定資産税相当額の1/2を5年間助成 ・償却資産の固定資産税相当額の1/2を2年間助成 【平成28年度助成金の実績】 固定資産税の助成額 84,640千円 17社(産業集積拠点10社、産業集積促進地区7社) 【平成29年度助成金の実績】 固定資産税の助成額 88,217千円 20社(産業集積拠点10社、産業集積促進地区10社) 【平成30年度助成金の実績】 固定資産税の助成額 116,709千円 24社(産業集積拠点15社、産業集積促進地区9社) 【令和元年度助成金の実績】 固定資産税の助成額 150,934千円 27社(産業集積拠点21社、産業集積促進地区6社) 【令和2年度助成金の実績】 固定資産税の助成額 127,983千円 30社(産業集積拠点25社、産業集積促進地区5社) 【令和3年度助成金の実績】 固定資産税の助成額 105,340千円 31社(産業集積拠点28社、産業集積促進地区3社) ※従前の「企業立地促進法」が平成29年7月に「地域未来投資促進法」へ法改正された。 本市では、大阪府と共同で地域未来投資促進法の基本計画となる「大阪府岸和田市基本計画」を策定し、平成31年3月25日付で国の同意を得ている。 地域牽引事業計画の承認を受けた事業者は、減税措置等の優遇措置を受けることができる。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	423,298	84,636	108,196	95,303	119,487	160,112	133,684	119,779	企業立地促進事業 ・「岸和田市産業集積拠点における企業立地の促進に関する条例」及び「岸和田市産業集積促進地区における産業支援条例」に基づく助成金等を計上。		
決算額	403,605	78,050	87,648	88,226	116,709	150,934	127,983	105,340			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※色塗り部分は検討期間		
助成措置対象企業 指定件数	3件	4件	6件	9件	4件	10件	3件	1件			
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											
実施期間(実績)											
担当課の評価コメント	今年度重点度		I								
	引き続き、積極的に企業誘致を進める。										

取組2	ホテル・旅館誘致の推進										
内容	「岸和田市ホテル・旅館誘致条例」(平成28年7月1日施行)に基づく支援制度 ○ 対 象 :100室以上のホテル又は30室以上かつ定員100人以上の旅館を新設する事業者 ○ 助成の内容 :①土地所有の場合 ・ 土地・家屋の固定資産税相当額を10年間助成 ・ 償却資産の固定資産税相当額を2年間助成 ②借地の場合 ・ 年間借地料の1/2を5年間助成 ・ 家屋の固定資産税相当額を5年間助成 ・ 償却資産の固定資産税相当額を2年間助成										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等 企業立地促進事業 ・「岸和田市ホテル・旅館誘致条例」に基づく助成金を計上。		
予算額	-	-	-	-	-	5,000	5,000	15,894			
決算額	-	-	-	-	-	5,000	5,000	15,894			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
ホテル・旅館誘致件数	-	-	-	1件	-	-	-	-			
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											
実施期間(実績)											
担当課の評価コメント	今年度重点度		I								
	引き続き、積極的にホテル・旅館の誘致を進める										

令和4年度 ワーキングA評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 引き続き、新規事業者への助成金を継続し、誘致に努めること。

令和4年度 ワーキングB評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 新型コロナ禍の状況を鑑みながら、更なる周知方法を検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針3 企業立地の促進
施策名	3-2)企業流出防止策の推進
取組概要	・事業所の市外流出を事前に防止するため、操業環境などについて企業訪問などを通じて把握し、効果的な対策方法について検討し、実行します。

取組	企業流出防止策の推進										
内容	・平成26年度に市外流出企業が1件あったが、企業の防災対策と現存工場の統合による効率化・労働環境の改善を目的として新築移転したことがその理由である(助成している企業であり、次年度の助成を説明するための訪問時に判明した)。 新たな投資を行う企業からの問い合わせにより、助成制度の説明に伺い、併せて操業環境の聞き取りも行った。 ・企業の操業環境の向上に寄与する各種規制緩和の実施に向けた検討を行う。 【R3】 木材港地区貯木場の利活用ニーズのヒアリングにあわせて、建替ニーズや操業環境などをヒアリングした。 ヒアリング先: 岸和田市工業センター協同組合、一般社団法人 大阪木材コンビナート協会、鉄工金属団地協同組合										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※色塗り部分は検討期間		
市外流出企業数	1件	-	-	-	-	-	-	-			
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間									→		
実施期間(実績)									→		
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	企業組合等に定期的にヒアリングを行い、ニーズを把握していくとともに、効果的な対策方法を検討し実行していく。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 企業組合だけでなく、組合が推薦する個別の事業者へのヒアリングによるニーズの深堀を検討すること。 臨海部の事業者については、BCPの観点からも移転リスクが高いため、重点的にヒアリングやケアを行うこと。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針3 企業立地の促進
施策名	3-3)新規立地企業へのアフターフォローの充実
取組概要	①新規立地した企業に対しては、通常の企業訪問とは別に、特別に訪問回数を増やし、市内での事業環境に関する「御用聞き」に取り組みます。 ②新規立地した企業への訪問活動を通じて、市内への立地要因を聞いて、次の企業誘致活動につなげます。 ③新規立地した企業からの相談への対応。

取組	新規立地企業へのアフターフォロー										
内容	①新規立地企業の個別訪問。 ②阪南2区連絡協議会等に参加し、立地企業の操業環境等についての聞き取りを行うとともに、商工会議所などの関係機関との連携を図り、次の企業誘致活動につなげる。 ③立地企業からの相談に対して、市関係課と連携し、操業しやすい環境づくりに取り組む。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※色塗り部分は検討期間		
新規立地企業訪問件数	-	1件	10件	18件	24件	24件	6件	4件			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間(実績)											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	市域全体の新規立地企業のアフターフォローを図るため、訪問する機会を増やすとともに、把握したニーズ等を基に施策を検討する。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 他市事例や先進事例も参考にし、新規立地企業により良い操業環境を維持してもらうために、ヒアリングを継続すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針4 創業支援
施策名	4-1) 創業に係る支援制度(相談、融資等)の強化
取組概要	・創業のための相談や融資については、引き続き商工会議所や金融機関などと連携を図り、強化していきます。

取組	創業支援事業										
内容	【H26】 市・商工会議所・地域金融機関(日本政策金融公庫、池田泉州銀行、大阪信用金庫)が集まり、岸和田創業支援ネットワークの構築と創業支援事業計画を策定するため会議を重ねた(8/8, 9/10, 10/17, 11/12, 12/22, 3/9)。その結果、平成27年2月に岸和田市創業支援事業計画が国の認定を受けた。 【H27】 ・岸和田創業支援ネットワークを開始(4/1)し、創業相談者を適切な機関への案内するため相互に協力し合う体制が整った。 ・創業支援事業計画に基づく「岸和田創業支援ネットワーク会議」の開催(4/30, 8/18, 12/16)。 ・地方創生先行型交付金を活用し、岸和田市創業支援事業補助金(店舗等改装工事費を2分の1補助、上限150万円)を開始した。 ・商工会議所が地域金融機関(池田泉州銀行・大阪信用金庫)と地域支援ネットワーク型融資を開始。 【H28】 ・岸和田創業支援ネットワーク会議の開催(4/20, 8/24, 12/14) ・創業セミナーに地域金融機関が参加し、金融面の支援について受講者に説明。 【H29】 ・岸和田創業支援ネットワーク会議の開催(4/26, 8/23, 12/13) ・これまで創業セミナー及び創業個別相談を受けた人に対して、補助金等の情報提供と創業者同士の交流を目的に、「創業者ステップアップ交流会」を開催し、12人が参加した。当日は創業支援ネットワークに加わる地域金融機関も参加者へ情報提供を行った。 【H30】 ・岸和田創業支援ネットワーク会議の開催(4/18, 8/22, 12/19) ・これまで創業セミナー及び創業個別相談を受けた人や創業して間もない方々に対して、経営に役立つ情報の提供と創業者同士の交流を目的に、「きしわだ起業家ミーティング(8/8 10人参加)」及び「創業者ステップアップ交流会(3/20 12人参加)」を開催した。「創業者ステップアップ交流会」については、創業支援ネットワークに加わる地域金融機関も参加者へ情報提供を行った。 【R1】 ・岸和田創業支援ネットワーク会議の開催(4/17, 8/21, 12/17) ・これまで創業セミナー及び創業個別相談を受けた人に対して、経営に役立つ情報の提供と創業者同士の交流を目的に、「創業者ステップアップ交流会(3/20 13人参加)」を開催した。 ・岸和田市創業時販路開拓支援事業補助金(HP作成費用等の広報に係る費用を2分の1補助、上限10万円)を開始した。 【R2】 ・岸和田創業支援ネットワーク会議の開催(7/1, 9/3, 3/8) ・岸和田市創業時販路開拓支援事業補助金を継続 【R3】 ・岸和田創業支援ネットワーク会議の開催(5/12,7/20) ・岸和田市創業時販路開拓支援事業補助金を「がんばる岸和田」企業経営支援補助金(区分:創業・起業)とし、補助対象経費を拡充。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	20,000	20,000	20,600	700	1,400	1,600	1,000	H29は創業セミナー負担金600千円を商工業振興事業から組替え		
決算額	-	15,893	18,458	17,659	347	515	655	543	H30から創業セミナー補助金700千円を計上		
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R1は販路開拓補助金700千円＋セミナー補助金700千円		
創業相談件数	-	31件	57件	54件	29件	40件	31件	33件	R2は販路開拓補助金900千円＋セミナー補助金700千円		
創業支援事業補助金件数	-	11回	13件	12件	-	-	-	-	R3は販路開拓補助金1,000千円 セミナー補助金は別事業にて計上		
創業時販路開拓支援事業補助金件数	-	-	-	-	-	2件	7件	-			
「がんばる岸和田」企業経営補助金(区分:起業・創業)	-	-	-	-	-	-	-	7件			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間									➡		
実施期間(実績)									➡		
担当課の評価コメント	今年度重点度		I								
	創業支援事業補助金については補助に伴う効果が見えにくいことがあり、平成29年度をもって終了し、令和元年度から、売上向上につながることを期待できて、より効果がわかりやすい創業時販路開拓支援事業補助金を創設した。さらに、今後は支援策や専門家等の紹介にワンストップで対応する総合案内機能(相談窓口)を強化します。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) IT関連企業等、新たな産業分野も視野に入れた創業支援策を検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針4 創業支援
施策名	4-2)創業支援計画策定の検討
取組概要	・市独自の創業支援に係る基本的考え方や、市内で創業し、事業を継続するための総合的な方策を位置づけるための、「岸和田市創業支援計画」の策定を検討します。

取組	創業支援事業計画策定										
内容	【H26】岸和田市創業支援事業計画を作成し、国から認定を受けた(H27/2)。 【H27】貝塚市から創業セミナー開催について広報紙への相互掲載と、特定創業支援事業(創業セミナーまたは個別相談受講)証明書の発行について、連携の打診があった。岸和田市・貝塚市・泉佐野市・岸和田商工会議所・貝塚商工会議所・泉佐野商工会議所の6機関で会議を持ち、実施していくこととなった。これに伴い、創業支援事業計画の変更が必要となった。 【H28】創業支援事業計画の変更について国から認定を受けた(H28/5)。 (変更点) ・岸和田市・貝塚市・泉佐野市・岸和田商工会議所・貝塚商工会議所・泉佐野商工会議所の6機関で創業セミナーの実施及び特定創業支援事業で連携。 ・計画期間が平成27年度～平成29年度までだったが、岸和田市総合戦略に合わせるため、平成27年度～平成31年度までとした。 【H29】創業支援ネットワークに新たな金融機関を加えることについて検討。 【H30】創業支援事業計画の変更について国から認定を受けた(H30/8) (変更点) ・岸和田創業支援ネットワークに、近畿大阪銀行が新たに加入。 【R1】創業支援事業計画の変更について国から認定を受けた(R1/6及びR1/12) (変更点) ・大阪信用金庫が実施する創業相談及び関西みらい銀行が実施する創業スクールを特定創業支援等事業に追加。(R1/6) ・計画期間を令和6年3月31日まで延長。(R1/6) ・岸和田創業支援ネットワークに、大阪府宅地建物取引業協会泉州支部が新たに加入。(R1/12) ・大阪府宅地建物取引業協会泉州支部が実施する創業セミナーを特定創業支援等事業に追加。(R1/12) 【R2】・変更なし 【R3】創業支援事業計画の変更について国から認定を受けた(R3/12) ・岸和田創業支援ネットワークに、岸和田ビジネスサポートセンターKishi-Bizが加入。 ・岸和田ビジネスサポートセンターKishi-Bizが行う創業相談を特定創業支援等事業に追加。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※色塗り部分は検討期間		
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間	――――➤										➤
実施期間(実績)	➡――										
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	H26に策定済み。H28、H30、R1、R3に変更認定を受ける。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 <u>改善して継続</u> ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 特定創業支援等事業について、関係機関と調整の上、実施時期が重複しないよう調整・検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針4 創業支援
施策名	4-3)チャレンジショップ支援制度の検討
取組概要	・商店街などが空き店舗をチャレンジショップとして開設する場合の改装費などを一部補助したり、市内商店街の空き店舗で出店を目指す人から事業計画を募集して審査を行い、入選した人に奨励金を交付するなどの創業者支援制度について検討します。

取組	商店街空き店舗対策										
内容	【H27】 ・商店街・不動産会社にヒヤリングを実施。 10月岸和田駅前通商店街の空き店舗の調査。 空き店舗10件(内4件不動産会社の看板あり) 理事長・不動産会社(2社)にヒヤリングを行った。引き合いはあるが、家賃・職種の限定などで、踏み切れていないとの事。 引き続き、商店街活性化に資する空き店舗対策の制度設計について検討をすすめる。 【H28】 商店街でのにぎわい創出のため、駅前通商店街でのダンス開催を検討。 【H29】 どんチャカフェスタと同時開催で、駅前通商店街の空き店舗にて高校生ダンスイベント「SSS Dance Kishiwada」を開催。和泉高校、岸和田高校、久米田高校のダンス部が参加し、パフォーマンスを行った(11/12)。 空き店舗解消に向け各種調整を進め、3店舗の空き店舗解消を図る。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間		
商店街空き店舗数 (4月1日現在、13商業団体)					-	-	22件	26件			
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間	----->		----->		----->		----->		----->	----->	----->
実施期間(実績)			----->		----->		----->		----->	----->	
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	チャレンジショップについては、補助がなくなれば事業継続が難しくなるなど課題も多いため、空き店舗減少に向け様々な可能性を探る。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) チャレンジショップに限らず、様々な団体との連携を検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-1)岸和田ブランドの創出・発信
取組概要	・岸和田ブランド認定事業を継続し、商品の充実を図るとともに、認定品を広く周知するため、メディアや情報誌などへの情報提供、各種イベントでの紹介など情報発信を強化します。

取組	岸和田ブランド事業										
内容	市内で生産・製造・加工された製品を岸和田ブランドとして認定し、販売を促進していくことで、市の地域経済を活性化させ、岸和田のブランド力を高めることを目的とする事業。H22年度から岸和田ブランド認定委員会(市・商工会議所等で組織)が「岸和田らしさ」を備え、優れた製品として一定の基準に適合する製品を、岸和田ブランドとして認定している。H28年現在、水ナスや桃、しらすちりめん、塩昆布、味噌、和菓子、だんじりの組コマ、バッチ、ウォーマーなど21事業者、22品目が認定されている。 【H27】 ・広報紙による岸和田ブランドに関するアンケート調査を実施した。その結果、岸和田ブランドの名称を聞いたことがある人は71%いたが、ロゴマークを見たことがある人は46%、さらに認定品を0～2個しか知らない人が63%に登り、認定度向上に課題が残った。 ・ブランド認定品を印刷したうちわを1,000本製作し、各種説明会、イベント、競輪場、百貨店催事等で配布した。 ・催事ではナンバーワンフェスタや御堂筋オータムパーティなどに出展し、販売とチラシの配布を行った。 ・テレビ岸和田、ニュースせんなん、南海電鉄広報誌「NATTS」へ情報提供した。 【H28】 ・新たに3事業者の3品目を認定。 ・テレビ岸和田での市政だよりにてブランドをPR ・コープフェスタin浪切ホール、岸和田競輪GⅢ、地蔵浜みなとマルシェ等に出展し、販売とチラシの配布を行った。 ・岸和田ブランド工場見学バスツアーを2回開催し、それぞれ18人、19人の参加があった。 ・テレビ岸和田、ニュースせんなん、南海電鉄広報誌「NATTS」へ情報提供した。 【H29】 ・新たに2事業者の2品目を認定。 ・コープフェスタin浪切ホール、岸和田競輪GⅠ、クイーンエリザベス号クルーズイベント等に出展し、販売とチラシの配布を行った。 ・体験型のイベントとして、岸和田ブランド工場見学ツアーと岸和田ブランド料理教室(味噌づくり、認定品を使った料理教室)を行った。 ・テレビ岸和田、ニュースせんなんへ情報提供した。 【H30】 ・コープフェスタin浪切ホール、岸和田競輪GⅠ、泉大津PA物産展等に出展し、販売とチラシ配布を行った。 ・体験型のイベントとして、岸和田ブランド工場見学ツアーと認定品を使った料理教室(大阪ガスクッキングスクールと連携)を行った。 【R1】 ・コープフェスタin浪切ホール、岸和田競輪GⅠ、セレッソ大阪市民応援デー等に出展し、販売とチラシ配布を行った。 ・体験型のイベントとして、岸和田ブランド工場見学ツアーの定員を20人から40人に拡大して実施した。 ・岸和田観光バス(株)と連携し、岸和田ブランドのラッピングバスが運行した。 【R2】 ・GoTo商店街事業の抽選の景品として岸和田ブランド認定品を提供。 ・大阪勤業展2020へ出展。岸和田ブランド認定委員会のブースにて、認定品およびポスター展示とパンフレット配布を行った。 ・泉州広告(株)と連携して岸和田ブランドの商品を情報誌の読者プレゼントとする企画へ参加した。 ・南海電気鉄道(株)との連携して岸和田の旅行商品の開発を行った。 【R3】 ・KISHIWADA SPORTS FES 2021へ出展。岸和田ブランド認定委員会のブースにて、認定品およびポスター展示とパンフレット配布を行った。 ・大阪勤業展2021へ出展。岸和田ブランド認定委員会のブースにて、認定品およびポスター展示とパンフレット配布を行った。 ・きしわだ就職フェア2021のパンフレット等配布ブースにて、パンフレット配布を行った。 ・泉州広告(株)と連携して岸和田ブランドの商品を情報誌の読者プレゼントとする企画へ参加した。 ・ABCアークが発行するフリーペーパー泉州人へ情報提供を行った。										
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等 岸和田ブランド認定委員会負担金 H30及びR2は負担金額まで達しなかったため減額となった。		
予算額	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000			
決算額	2,000	2,000	2,000	2,000	1,434	2,000	646	2,000			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
催事等への出展数	12回	7回	13回	17回	19回	17回	4回	2回			
情報提供数	4回	3回	3回	2回	1回	2回	3回	3回			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間(実績)											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		I								
	「岸和田ブランド」のさらなる認知度向上に努める。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ <u>改善して継続</u> ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 周知方法等について改善を検討すること。 ふるさと納税の返礼品を拡充することや、ふるさと納税の制度を活用した事業者の誘致等に繋げること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-2)商店街活性化事業の推進
取組概要	・中心市街地活性化に資する取り組みや、商店街の環境整備に係る事業などについて、引き続き支援に取り組めます。

取組1	商店街等活性化事業											
内容	【H26】 商店街等が行う商業活性化・地域交流促進事業に対するの助成。 4商店街 444,000円 商店街等の環境整備施設(街路灯)の維持管理に対するの助成。 11商店街 666,400円 【H27】 商店街等が行う商業活性化・地域交流促進事業に対するの助成。 4商店街 494,000円 商店街等の環境整備施設(街路灯)の維持管理に対するの助成。 11商店街 515,600円 【H28】 商店街等が行う商業活性化・地域交流促進事業に対するの助成。 4商店街 428,000円 商店街等の環境整備施設(街路灯)の維持管理に対するの助成。 12商店街 544,700円 【H29】 商店街等が行う商業活性化・地域交流促進事業に対するの助成。 4商店街 454,000円 商店街等の環境整備施設(街路灯)の維持管理に対するの助成。 12商店街 551,700円 【H30】 商店街等が行う商業活性化・地域交流促進事業に対するの助成。 3商店街 421,000円 商店街等の環境整備施設(街路灯)の維持管理に対するの助成。 12商店街 582,300円 【R1】 商店街等が行う商業活性化・地域交流促進事業に対するの助成。 3商店街 573,000円 商店街等の環境整備施設(街路灯)の維持管理に対するの助成。 12商店街 564,200円 【R2】 商店街等が行う商業活性化・地域交流促進事業に対するの助成。 2商店街 247,000円 商店街等の環境整備施設(街路灯)の維持管理に対するの助成。 11商店街 478,700円 【R3】 商店街等が行う商業活性化・地域交流促進事業に対するの助成。 2商店街 242,000円 商店街等の環境整備施設(街路灯)の維持管理に対するの助成。 11商店街 508,400円											
	事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
	予算額	2,999	2,639	2,802	2,982	2,705	2,620	7,548	3,120	商業活性化・地域交流促進事業補助金 商店街環境整備施設等維持管理費助成金 商店街連合会助成		
	決算額	1,711	1,741	1,708	1,908	1,775	1,138	6,065	1,665	商店経営研究会助成 大規模小売店舗立地法関係		
	関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
	商店街イベント補助件数	4件	4件	4件	4件	3件	4件	2件	2件			
	新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	計画実施期間											➡
	実施期間(実績)											➡
	担当課の評価コメント	今年度重点度		I								
		商店街等の活性化のため、引き続き支援する。										

取組2	岸和田TMO支援事業										
内容	中心市街地活性化を目的とし、岸和田TMOに参画し、春のみんなDay参加どんちゃかフェスタ・秋のみんなDay参加どんちゃかフェスタ・レンタサイクル事業の実施を行っている。 【H29】どんチャカフェスタと同時開催で、駅前通商店街の空き店舗にて高校生ダンスイベント「SSS Dance Kishiwada」を開催。和泉高校、岸和田高校、久米田高校のダンス部が参加し、パフォーマンスを行った(11/12)。 【R2】新型コロナウイルス感染症のため春・秋のどんチャカフェスタ中止。 【R3】新型コロナウイルス感染症のため春のどんチャカフェスタが中止となり、秋のみ開催。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等 【H29】高校生ダンスイベント開催のため一部予算を流用して実施		
予算額	500	500	500	500	500	500	500	500			
決算額	500	500	500	550	500	500	0	500			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
春・秋どんちゃかスタンプラリー参加者数	607人	625人	735人	766人	953人	850人	-	616			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間(実績)											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅰ								
	どんチャカフェスタについては今後開催方法などを検討する。										

取組3	商業共同施設整備事業										
内容	商業団体等が行う共同施設の整備事業への補助。 【H26】城見橋商店街が行うアーケード支柱補強工事の補助 【H29】 ・泉州卸商業団地（協）が行う防犯カメラ設置工事の補助、ニューキャスルショッピングデパート（協）が行う公衆トイレ改修工事の補助 【H30】 ・春木駅前通商店街が行う街路灯改修（LED化）工事の補助、ニューキャスルショッピングデパート（協）が行う公衆トイレ改修工事の補助 【R1】 ・泉州卸商業団地が行う防犯カメラ設置工事の補助 【R2】 ・岸和田駅前通商店街振興組合が行うアーケード更新事業の補助、城見橋筋商店街が行う防犯カメラ設置事業の補助、岸和田中央商業協同組合が行う街路灯整備事業の補助 【R3】 ・岸和田駅前通商店街振興組合が行うコミュニティ関連施設新設事業の補助、泉州卸商業団地協同組合が行う防犯カメラ設置事業の補助										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	888	－	550	2,752	6,896	2,002	8,583	1,317			
決算額	377	－	0	1,259	826	505	4,430	842			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
共同施設整備団体	1件	－	－	2件	2件	1件	3件	2件			
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間(実績)											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅰ								
	商店街の安心・安全に寄与している。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 組織の縮小が見受けられるため、それに対応した取組・支援策を検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-3)観光振興計画の推進
取組概要	①「岸和田市観光振興計画」の推進母体となっている「岸和田市観光振興推進会議」において策定された「岸和田市観光振興計画平成25年度提言書」に沿って、観光の振興を図ります。 ②平成28年度までの長期計画期間となっている「岸和田市観光振興計画」の見直しを行い、計画に沿って観光の振興を図ります。

取組	観光振興事業（取組概要①②）										
内容	□観光振興協会委託事業…お城まつり、泉州の物産展、もみじまつり等の実施 □観光振興計画実施事業…岸和田市観光振興協会公式サイト「岸ぶら」による情報発信等 □まち歩き推進事業…フィルムカウンスル事業、ランチマップ、まち歩きマップの作成等										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等 ・観光振興協会委託事業 ・観光振興計画実施事業 ・まち歩き推進事業		
予算額	23,370	28,370	24,300	21,100	20,900	32,305	30,300	13,383			
決算額	23,370	28,370	24,300	21,100	20,900	29,323	18,898	11,395			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
観光入込客数	2,869,138人	3,089,940人	2,992,741人	2,953,748人	2,708,474人	2,999,383人	2,025,881人	2,022,515人 （速報値）			
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間（実績）											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅰ								
	本市の観光施策の指針となる「第2次岸和田市観光振興計画」をもとに事業を推進し、さらなる観光客誘致に取り組む。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 市内観光地間の移動手段の確保について検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-4) 港湾振興事業の推進
取組概要	・市民に港への関心と理解をより一層深めてもらうため、岸和田港振興協会などと連携しながら港まつりなどを実施し、港湾の活性化につなげていきます。

取組1	港湾振興事業										
内容1	「岸和田港まつり」は、協賛金と市の補助金にて開催。 「港湾美化啓発活動」は地蔵浜町の企業や浜地区町会等、その他ボランティアが参加。 平成29年6月25日(日)の「第24回港湾美化啓発活動」は雨天のため中止。平成29年7月29日(土)に岸和田港まつり「花火大会」、平成29年8月5日(土)に「巡視船体験航海」を開催。 平成30年6月24日(日)に「第25回港湾美化啓発活動」を実施。平成30年7月22日(土)に岸和田港まつり「安全祈願祭」、平成30年8月4日(土)に「巡視船体験航海」を開催。花火大会は中止。 令和元年6月16日(日)に「第26回港湾美化啓発活動」を実施。令和元年7月27日(土)に「みなとオアシス岸和田登録記念 岸和田港まつり」「安全祈願祭」を実施。「巡視船体験航海」は中止。 令和2年度の「港湾美化啓発活動」「岸和田港まつり」はコロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止。 令和3年度の「岸和田港まつり」はコロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止。「港湾美化啓発活動」は清掃エリアを臨海部全域に広げ、新しい生活様式への対応及び事業効果の拡大を図った。										
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	19,199	19,199	19,199	19,199	19,199	19,199	19,199	17,115			
決算額	18,733	18,733	19,199	19,199	0	19,199	157	71			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
港まつり花火大会入込客数	25,000人	18,000人	23,000人	25,000人	中止	25,000人	中止	中止			
清掃の参加人数	967人	822人	782人	中止	721人	734人	中止	546人			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間(実績)											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		I								
	本市の臨海部の魅力を生かした「岸和田港まつり」の開催に向けて検討・調整する。										

取組2	岸和田旧港地区周辺の魅力づくり構想の推進										
内容2	平成28年7月に「岸和田旧港地区周辺の魅力づくり構想」を策定 ・計画期間：平成28年度～平成34年度 ・構想の基本コンセプト：「豊富な資源をいかした“にぎわいが持続・発展する魅力ある交流拠点”を実現」 ・構想実現に向けた方針：①豊富な資源の有効活用、②新たな地域活性化の取り組みとの連携、③未活用地の有効活用、④周辺類似施設との差別化、⑤岸和田地区再開発事業の進捗、⑥岸和田市全域との連携や波及効果の6つの方針に基づき、施策の積極的な展開を図る。 令和元年度に「岸和田旧港地区エリアにおける企業立地意向確認の調査」(10月～令和2年2月)を実施。 令和3年度に「岸和田旧港地区における未利用地(スポーツドーム跡地)の利活用に関するサウンディング型市場調査」(9～11月)を実施。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	2,500	-	-	「岸和田旧港地区エリアにおける企業立地意向確認の調査」委託費(R1)		
決算額	-	-	-	-	-	2,298	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											
実施期間(実績)											
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	企業立地意向確認の調査やサウンディング調査の結果をもとに、土地利用規制のあり方を見直し、スポーツドーム跡地の利活用を進めるとともに、各関係機関と連携し、構想の対象区域内において賑わい創出のための新たな事業を展開していく。										

令和4年度 ワーキングA評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 周辺のまちづくりを踏まえ、テニスドーム跡地について、民間の活力を導入したうえで誘致につなげること。

令和4年度 ワーキングB評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 「岸和田港まつり」については、新形式で実施する今年度の結果を踏まえて次年度以降の内容等を検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-5)農林水産振興事業の推進
取組概要	・農林水産業者及び関係団体への支援を引き続き行い、市民や企業の参画を得ながら地産地消の推進を図ります。

取組	農林水産振興事業										
内容	本市の農業を広く市民に紹介し、市民の農業に対する理解や認識を高め農業振興に資することを目的としている。 マルシェは漁業組合主催であり、市は後方支援であるが、岸和田の漁業を広く市民に知っていただく機会であり、臨海部の活性化につながる。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等 農業まつり負担金 17千円 農業実習委託料 500千円 林業活性化協議会委託料360千円 漁業振興対策補助金2,128千円 臨海部活性化イベント支援金 669千円		
予算額	5,788	5,788	5,788	6,788	6,788	6,788	6,788	5,988			
決算額	5,788	5,788	5,788	6,788	6,788	6,788	4,089	3,674			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
岸和田市農業まつり開催回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回	0回	0回			
地蔵浜みなとマルシェ開催回数	－	28回	47回	42回	43回	40回	22回	20回			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間(実績)											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅰ								
	コロナ禍で周知イベントの実施回数が減少したが、引き続き振興事業の実施及び支援を実施する。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 「農業まつり」については、アフターコロナに対応した形での実施を検討すること。 「みなとオアシス岸和田」周辺エリアの回遊性を向上させるための取組を検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

取組2	市民への地元産業の理解促進(取組概要②)										
内容	【H28】 岸和田ブランド認定事業者の市民向け工場等見学バスツアーを2回実施(岸和田ブランド認定委員会)。 ・1月28日(土)だんぢり屋製菓～田中家具製作所 参加者19人 ・2月25日(土)大下工務店～井坂酒造場 参加者18人 【H29】 岸和田ブランド認定事業者の市民向け工場等見学バスツアーを実施(岸和田ブランド認定委員会)。 ・1月27日(土)林キルティング～井坂酒造場～田中家具製作所～大下工務店 参加者22人 【H30】 岸和田ブランド認定事業者の市民向け工場等見学バスツアーを実施(岸和田ブランド認定委員会)。 ・1月26日(土)林キルティング～井坂酒造場～田中家具製作所～大下工務店 参加者23人 【R1】 岸和田ブランド認定事業者の市民向け工場等見学バスツアーを実施(岸和田ブランド認定委員会)。バス2台に定員拡大 ・1月25日(土)林キルティング～井坂酒造場～田中家具製作所～大下工務店 参加者42人 【R2】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため工場見学バスツアーを中止。 【R3】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため工場見学バスツアーを中止。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	5-1)参照(岸和田ブランド認定委員会負担金)		
決算額	2,000	2,000	2,000	2,000	1,434	2,000	646	2,000			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
工場見学バスツアー参加者数	-	-	37人	22人	23人	42人	-	-			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											
実施期間(実績)											
担当課の評価コメント	今年度重点度		I								
	今年度も引き続き工場見学バスツアーを開催予定。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 地元産業の理解促進について、もう一步踏み込んで事業の目的を整理したうえで事業内容を検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-7)岸和田市産業PR冊子の作成検討
取組概要	・岸和田市産業の魅力を広く市内外に発信し、市民に地元への愛着を高めてもらい、市外からの産業観光につながるようなPR冊子の作成を検討します。

取組	岸和田市産業PR冊子の作成										
内容	平成20年3月に作成した冊子「岸和田力」を参考に、観光課及び農林水産課と協議しながらPR冊子の作成を検討する。 【H29】 図書館が発行する小学校高学年向けの冊子「岸和田発見4 岸和田の産業～郷土の産業を知ろう～」(平成30年3月)の発行に協力した。 【R1】 冊子「岸和田発見4 岸和田の産業～郷土の産業を知ろう～」について、池田泉州銀行、徳洲会病院にて設置協力を得る。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間		
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間			----->								
実施期間(実績)											
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅲ								
	引き続き、冊子「岸和田発見4 岸和田の産業～郷土の産業を知ろう～」を活用する施策を検討する。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) PR冊子をデータ化して誰にでも閲覧可能にするなど、発信方法を検討し、引き続き市のPRにつなげること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針6 産業情報の収集・提供
施策名	6-1)企業情報の収集
取組概要	・岸ナビの市内登録企業情報(約700社)を基に、企業訪問活動などの情報を充実することによって、市内企業の情報発信や、市内外企業との連携促進、企業支援情報の提供などに活用します。

取組	企業情報の収集・提供										
内容	【H27】 ・企業訪問記事や、市内企業のテレビ放送予定などの情報を岸ナビに掲載。 ・「岸ナビ」の見直しを図るとともに新たな情報発信の手法を検討する。 ・テレビ大阪に市内企業の情報提供し、番組内でレンズ業者が紹介される。 ・新聞社2社に岸和田市プレミアム付商品券事業を情報提供。 ・トラベルニュース、日刊工業新聞にイベント・創業支援情報提供 【H28】 ・6/27 JFE継手株式会社へ会社見学及び情報交換 ・7/6 株式会社Dear Laura(ディアローラ)へ会社見学及び情報交換 ・7/15 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズへ会社見学及び情報交換(岸ぶらにて会社見学の様子を紹介される。) ・平成28年9月末、「岸ナビ」を廃止した。 ・岸ナビの廃止に伴い、企業ニーズにあった、産業情報の新たな発信方法として、施策情報を掲載したメールマガジンの配信(月1回)を、12月から開始した。 ・製造業者からニーズの高い中小企業支援施策について、市のHPやメールマガジン等を活用し、定期的な情報提供に努めている。 【H29】 ・3/14 松浪硝子工業株式会社へ会社見学及び情報交換(岸和田市異業種交流会主催) ・国・府・市などの施策情報やセミナー情報などの中小企業支援施策について、市のHPやメールマガジン等を活用し、定期的な情報提供に努めている。 【H30】 ・2/26 広光印刷株式会社へ会社見学及び情報交換(岸和田市異業種交流会主催) ・国・府・市などの施策情報やセミナー情報などの中小企業支援施策について、市のHPやメールマガジン等を活用し、定期的な情報提供に努めている。 【R1】 ・国・府・市などの施策情報やセミナー情報などの中小企業支援施策について、市のHPやメールマガジン等を活用し、定期的な情報提供に努めている。 【R2】 ・国・府・市などの施策情報やセミナー情報などの中小企業支援施策について、市のHPやメールマガジン等を活用し、定期的な情報提供に努めている。特に、コロナ禍における支援制度について、メールマガジンの臨時号を配信するなど情報提供に努めた。 【R3】 ・国・府・市などの施策情報やセミナー情報などの中小企業支援施策について、市のHPやメールマガジン等を活用し、定期的な情報提供に努めている。特に、コロナ禍における支援制度について、メールマガジンの臨時号を配信するなど情報提供に努めた。 ・岸和田ビジネスサポートセンターを利用する事業者の新製品・商品のPR等のため、メディアへの情報提供を行った(メディア掲載件数56件)。 - また、事業者のマッチングを行った(14件)。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
岸ナビアクセス数	74,896件	79,101件	-	-	-	-	-	-			
マスコミ等への企業情報提供件数	-	5件	-	-	-	-	-	-			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間(実績)											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	効率的な情報収集・提供を進める。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 企業のニーズ等について目的やテーマをもって情報収集する方法を検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針6 産業情報の収集・提供
施策名	6-2) 支援メニューの整理・提供
取組概要	・市だけでなく、国や大阪府、産業支援機関の支援メニューについて情報を収集し、事業者が利用する視点で、分かりやすい整理を行い、企業訪問活動などにおいて情報提供します。また、申請書づくりの支援に努めていきます。

取組	支援メニューの整理・提供										
内容	【H27】 「中小企業者・小規模事業者のための支援施策集」を300部作成し、企業訪問時に配布（57社）を行うとともに、中小企業者・小規模事業者関連施策説明会で配布した（3/23実施 44社・52名参加）。また、商工会議所及び産業政策課窓口で配布した。 【H28】 ・創業して間もない事業者を訪問する際に「中小企業者・小規模事業者のための支援施策集」を持って訪問し情報提供した。 ・「中小企業者・小規模事業者のための支援施策集」を活用し、新たな施策の情報収集・整理を行うとともに、情報提供に努める。 ・大阪府よろず支援拠点と連携し、10月より月2回岸和田市役所にて、無料経営相談会を実施。21件の相談あり。相談内容に応じ、補助金等の施策を紹介している。 ・産業情報の新たな発信方法として、施策情報を掲載した企業支援メールマガジンの配信（月1回）を、12月から開始した。 【H29】 ・大阪府よろず支援拠点と連携し、無料経営相談を実施したところ、22件の相談があった。上半期は、岸和田駅前通商店街や岸和田工業センター協同組合など、市内各企業組合等の会議室にて月替わりで場所を変えて実施し、下半期は岸和田商工会議所にて実施。補助金申請書の添削の対応を含め、様々な経営相談への対応が可能である。 ・国・府・市などの施策情報やセミナー情報などの中小企業支援施策について、市のHPやメールマガジン等を活用し、定期的な情報提供に努めている。 【H30】 ・大阪府よろず支援拠点及び岸和田商工会議所と連携し、無料経営相談を実施したところ、20件の相談があった。補助金申請書の添削の対応を含め、様々な経営相談への対応が可能である。 ・国・府・市などの施策情報やセミナー情報などの中小企業支援施策について、市のHPやメールマガジン等を活用し、定期的な情報提供に努めている。 【R1】 ・大阪府よろず支援拠点と連携し、12月までの月1回岸和田商工会議所にて無料経営相談を実施。 ・令和2年2月18日に岸和田ビジネスサポートセンターKishi-Biz開設し、無料経営相談を実施。また、ホームページやfacebook等を活用した情報発信を行った。 ・国・府・市などの施策情報やセミナー情報などの中小企業支援施策について、市のHPやメールマガジン等を活用し、定期的な情報提供に努めている。 【R2】 ・コロナ関連施策については臨時号を含め、市のHPやメールマガジン等を活用し、情報提供に努めている。 【R3】 ・コロナ関連施策については臨時号を含め、市のHPやメールマガジン等を活用し、情報提供に努めている。 ・岸和田ビジネスサポートセンターKishi-Bizにおいて、ホームページやfacebook等により情報発信を行った。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	1,450	-	-	-	-	-	-	国・府・市支援制度一覧表作成委託料950千円 中小企業・小規模事業者関連施策説明会業務一部委託料500千円 H27は地方創生先行型交付金を活用。		
決算額	-	1,443	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※色塗り部分は検討期間		
中小企業者・小規模事業者関連施策説明会開催回数	-	1回	1回	-	-	-	-	-			
企業支援メールマガジン発行回数			4回	12回	12回	12回	13回	15回			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間	-----➡										➡
実施期間（実績）											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		I								
	新たな施策の情報収集を行うとともに、企業支援メールマガジン等を利用した情報提供に努める。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 今後も様々な事業者に対して広く支援メニューを情報提供できる方法について検討していくこと。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

取組3	事業承継支援										
内容	【H30】 ・大阪府事業承継ネットワーク推進会議に参加。 ・事業承継の相談窓口について広報きしわだ、企業支援メールマガジン、市ホームページにて周知を行った。 【R1】 ・事業承継の相談窓口について広報きしわだ(12月号)、企業支援メールマガジン、市ホームページにて周知を行った。 ・大阪府事業承継ネットワークなどが実施する「南海沿線アトツギソン」(34歳未満の事業承継予定者のアイデア発表及びプレゼン大会)に協力(後援)した。岸和田市在住者からは1名の参加があった。 【R2】 ・事業承継のセミナーについて広報きしわだ(9月号・1月号) 企業支援メールマガジン、市ホームページにて周知を行った。 ・大阪府事業承継ネットワークなどが実施する「南海沿線アトツギソン」に協力(後援)した。 【R3】 ・事業承継のセミナーについて広報きしわだ(1月号) 企業支援メールマガジン、市ホームページにて周知を行った。 ・大阪府事業承継ネットワークなどが実施する「南海沿線アトツギソン」に協力(後援)した。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間(実績)											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	事業承継についての相談窓口の周知に努める。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 融資、事業承継制度の入り口として広報を続けるとともに、相談窓口の周知、窓口につなげる取組を着実にを行うこと。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針8 販路開拓支援
施策名	8-1)展示会への出展支援の充実
取組概要	①市外の展示会や常設展示場への出展に対して、引き続き助成を行います。また、市内事業所による共同での出展に対して支援します。 ②業界ごと販路開拓に有効な展示会の情報について収集し、関心の高い事業者を提供します。

取組	展示会出展補助事業（取組概要①②）										
内容	・市外の展示会又は常設展示場への出展であって、当該中小企業者等の販路開拓又はイメージアップのために行う事業（販売を伴うものを除く）に対して出展料等の補助金を支給。 ※岸和田市企業経営支援事業の展示会出展事業補助金（2分の1補助、上限20万円） ・展示会出展企業の実施結果を把握し、販路開拓においての成功事例の情報収集したうえで、ノウハウの提供に努めます。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,500	3,500	3,500	H29予算以降には、展示会出展事業補助金・産学官連携事業補助金・産業人材スキルアップ事業補助金・合同企業説明会等参加支援事業補助金を含む。なお、R1予算から産学官連携事業補助金を廃止し、創業時販路開拓事業補助金を創設。		
決算額	1,141	1,853	1,597	1,482	2,070	2,497	985	2,738			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3年度より “「がんばる岸和田」企業経営支援補助金” と名称を変更し、展示会出展事業への支援を引き続き行う。補助内容については従来と変更なし。		
展示会出展事業補助金交付決定件数	11件	17件	14件	13件	16件	17件	10件	21件			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間									➡		
実施期間（実績）									➡		
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅰ								
	引き続き支援を実施する。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 現在の制度内容を継続して、事業者からのニーズに応えるよう努めること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針8 販路開拓支援
施策名	8-2)海外への販路開拓支援
取組概要	・海外の現地情報や事例を学ぶ機会を企画するとともに、主に中小企業の国際ビジネスを支援している「大阪産業振興機構」と連携するなど、市内事業所における海外への販路開拓支援に取り組みます。

取組	海外への販路開拓支援										
内容	【H28】 10月から実施した大阪府よろず支援拠点の岸和田出張相談所において、海外への販路開拓の相談を受けるとともに、平成27年度に作成した「中小企業者・小規模事業者の支援施策集」を活用し、海外への販路開拓に際し、「大阪産業振興機構」「日本貿易振興機構(JETRO)」などの支援機関への斡旋を行うこととした。なお、相談のあった21件のうち、海外への販路開拓に関する相談はなかった。 【H29】 ベトナム進出セミナー12/6について、市・岸和田商工会議所・池田泉州銀行の連携協定により広報を行った。 【H30】 相談件数0件。引き続き、ワーキングや委員会での意見を踏まえ、相談があった際は大阪府等関係機関と連携を図ることとした。 【R1】 相談件数0件。引き続き、相談があった際は大阪府等関係機関と連携を図ることとした。 【R2】 相談件数1件。海外展開(メゾン・エ・オブジェ出展)を希望する事業者に対しJETROを紹介。 【R3】 相談件数0件。引き続き、相談があった際は大阪府等関係機関と連携を図ることとした。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間		
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間			----->		----->		----->				
実施期間(実績)			----->								
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅲ								
	相談があった際は大阪府等関係機関と連携を図る。府や関係機関と連携し、海外への販路拡大事業の情報提供を進めます。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 海外販路開拓の相談等があった際は、大阪産業局や中小機構等関係機関に適宜つなげること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針9 人材育成と雇用確保の機会提供
施策名	9-1) 合同就職説明会の開催及び開催支援
取組概要	①市内事業所の合同就職説明会を開催します。 ②市内の協同組合などによる合同就職説明会の開催に関する支援を検討します。

取組1	岸和田・貝塚合同就職面接会及びきしわだ就職フェア(岸和田合同企業説明会)の開催(取組概要①)										
内容	・岸和田・貝塚合同就職面接会 【H28】 H28年度は、2/17浪切ホールで開催。泉州エリアの企業39社が参加し、124人が来場した。就職面接会のほか、キャリアカウンセラーによるセミナーや労働相談等の各種相談コーナーも設置し、参加者アンケートによると約60%が「概ね満足」と回答した。 【H29】 H29年度は、2/20貝塚市立総合体育館で開催。泉州エリアの企業42社が参加し、149人が来場した。就職面接会のほか、就活セミナーや労働相談等の各種相談コーナーも設置し、参加者アンケートによると約5割が「概ね満足」と回答。次年度も引き続き開催予定。 【H30】 H6から毎年実施。会場は、岸和田市と貝塚市の輪番制で、H30年度は2/15浪切ホール。これまでと同様、岸和田商工会議所、貝塚市、貝塚商工会議所、ハローワーク岸和田、大阪府などと連携して開催。泉州エリアの企業38社が参加し、112人が来場した。就職面接会のほか、カウンセラーによる面接直前対策や労働相談等の各種相談コーナーを設置し、シニア向けにはセブンイレブン・シニアお仕事説明会を行った。参加者アンケートでは約5割が「概ね満足」と回答。参加者の減少が続くところであるが、次年度も事業の検証を行い開催予定。 【R01】 R01年度は、2/18貝塚市立総合体育館で開催。泉州エリアの企業39社が参加し、125人が来場した。就職面接会のほか、昨年同様、カウンセラーによる面接直前対策や労働相談等の各種相談コーナーも開設した。また、シニア向けにはセブンイレブン及びマクドナルドがお仕事説明会を行った。参加者アンケートでは約4割が「概ね満足」と回答。次年度も事業の検証を行い開催予定。 【R02】 R02年度は、コロナ禍の中、直前まで開催可否を議論した結果、感染症対策を万全にして、2/19南海浪切ホールで開催。泉州エリアの企業37社が参加し、99人が来場した。就職面接会のほか、カウンセラーによる面接直前対策や各種相談コーナーを設置し、シニア向けにはセブンイレブンがお仕事説明会を行った。参加者アンケートでは、過半数が「概ね満足」と回答。次年度も事業の検証を行い開催予定。 【R03】 引き続きコロナ禍の中、直前まで開催可否を議論した結果、感染症対策を万全にして、2/18南海浪切ホールで開催。泉州エリアの企業37社が参加し、80人が来場した。就職面接会のほか、岸和田ハローワークによる職業紹介、面接直前対策や各種相談コーナーを設置し、シニア向けに「お仕事説明会」を行った。参加者アンケートでは、過半数が「概ね満足」と回答。参加者の減少が続いているが、事業の検証を行い、次年度も開催予定。 ・岸和田合同企業説明会 【H28】 8/18浪切ホールにて初開催。市内及び近隣企業32社が参加。来春大学等卒業予定者及び概ね34歳以下の若年求職者を対象。学生等51人が参加。企業ブースにおける説明延べ人数は155人。通常の企業説明に先立ち、求職者を数名のグループにまとめてスタッフが企業ブースを順に案内し、企業が1分間で自社PRを行う「企業案内ガイドツアー」を実施。参加者アンケートによると80%が全体を通して「良かった」と回答し、概ね好評を得た。今後事業の検証を行い改善予定。 【H29】 8/2浪切ホールで開催。市内及び近隣企業38社参加。来春大学等卒業予定者及び概ね34歳以下の若年求職者を対象。学生など68人参加。企業ブースにおける説明延べ人数253人。昨年同様、企業が1分間の自社PRを行う「企業ガイドツアー」を実施。来場者数とブース訪問数の増大を目的に「スタンプラリー」を行い、ポイント獲得者に就活用証明写真の無料撮影を実施。参加者アンケートでは9割近くの人が、全体を通して「概ね良かった」と回答。企業の人材確保が難しい現状を踏まえ事業の検証を行い、次年度も開催予定。 【H30】 8/3浪切ホールで開催。これまでと同様、岸和田市、岸和田商工会議所及び池田泉州銀行との産業振興連携協力に関する協定に基づく事業とするほか、ハローワーク岸和田の位置付けを協力から共催へ変更し開催。市内及び近隣企業29社がそれぞれブースを設置し、来春大学等卒業予定者及び概ね34歳以下の若年求職者を対象としたところ35人が参加し、企業ブースにおける説明延べ人数は138人であった。今年度も、求職者を数名のグループにまとめてスタッフが企業ブースを順に案内する「企業案内ガイドツアー」を行い、各社の持ち時間を1これまでの1分間から1分半に延長し、自社PRを行った。参加者アンケートによると、8割以上の人が全体を通して「概ね良かった」と回答。次年度は、対象年齢を概ね39歳以下と拡げ、併せて外国人留学生を対象とすることによる来場者の増加と、企業満足度の向上を目指し開催予定 【R01】 8/5浪切ホールで開催。産業振興連携協定に関する協定に基づく事業。市内及び近隣企業32社が参加。来春大学等卒業予定者及び概ね39歳以下の求職者並びに外国人留学生を対象としたところ、41人の参加があった。企業ブースにおける説明延べ人数は125人であった。昨年度同様、「企業案内ガイドツアー」を実施し、参加企業は自己PRを行った。参加者アンケートによると、8割以上の人が全体を通して「概ね良かった」と回答した。ニーズをとらえ、来場者の増加と企業満足度の向上を目標に開催を検討する。 ・きしわだ就職フェア 【R02】 岸和田合同企業説明会はR01年度で一旦中止することとし、R02年度からはきしわだ就職フェアとして、ハローワーク岸和田と連携して取組むこととしたが、コロナ禍の影響でやむなく中止することとなった。 【R3】 ・岸和田ハローワークと連携し、7/16南海浪切ホールで開催。市内企業20社が参加し、55人が来場した。面接直前に「第一印象アップDVDセミナー」も開催した。参加者アンケートによると約過半数の人が「概ね良かった」と回答。次年度も集客率増を目標に開催予定。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等 地域就労支援事業負担金1,400千円(委員会分) うち岸和田・貝塚合同就職面接会開催予算300千円 うち岸和田合同企業説明会開催予算600千円(～R01) うちきしわだ就職フェア開催予算500千円(R02～)		
予算額	1,100	1,100	1,470	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400			
決算額	1,100	1,100	1,470	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
合同就職面接会参加者数	254人	175人	124人	149人	112人	125人	99人	80人			
合同企業説明会参加者数 きしわだ就職フェア参加者数	-	-	51人	68人	35人	41人	-	55人			
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間									➡		
実施期間(実績)									➡		
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅰ								
	多くの来場者が見込めるよう、魅力的な企画づくりに努めるほか、広報の充実を図る。										

取組2	合同企業説明会中小企業者等参加支援事業（取組概要②）										
内容	【H28】 岸和田市企業経営支援事業の「合同企業説明会中小企業等参加費用補助事業」の実施。1件175千円の利用があった。 【H29】 岸和田市企業経営支援事業の「合同企業説明会中小企業等参加費用補助事業」の実施。1件175千円の利用があった。 【R1】 岸和田市企業経営支援事業の「合同企業説明会中小企業等参加費用補助事業」の実施。1件100千円の利用があった。 ※いずれも企業等が雇用確保を目的とし、市外で開催される企業説明会に参加する際の参加費について一部助成(2分の1補助、上限20万円)を行う。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	1,600	3,000	3,000	3,000	3,500	-	・H29予算以降には、展示会出展事業補助金・産学官連携事業補助金・産業人材スキルアップ事業補助金・合同企業説明会等参加支援事業補助金を含む。 ・R1予算から産学官連携事業補助金を廃止し、創業時販路開拓事業補助金を創設。 ・R2年度末をもって合同企業説明会中小企業等参加支援事業を廃止した。		
決算額	-	-	175	175	0	100	0	0			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
合同企業説明会中小企業等参加費用補助件数	-	-	1件	1件	0件	1件	0件	-			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											
実施期間(実績)											
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅲ								
	H28年8月から合同企業説明会中小企業者等参加支援事業を開始したが、対象となる企業が少なかったため、令和2年度をもって廃止とした。それに代わってコロナ後の新しい生活様式等に対応した補助金を令和3年度から創設。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	（コメント） 来場者が減少すると企業側の出展メリットがなくなるため、広報方法等を精査・検討した上でより多くの参加者に来場してもらえるような仕掛けを考えること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針9 人材育成と雇用確保の機会提供
施策名	9-2) 担い手育成・後継者育成支援の検討
取組概要	①新たに農業を営もうとする者が、農業経営の基礎を確立するための青年等就農計画を作成し、認定を受けた者が無利子資金の貸付けなどの支援を受けることができる「認定新規就農者制度」を活用することにより、効率的かつ安定的な農業経営の担い手の育成・確保を図ります。 ②企業訪問を通して、商工業者などの担い手育成・後継者育成に係る支援ニーズを掘り起し、それに応える施策のあり方を検討します。

取組1	青年就農支援事業(取組概要①)										
内容	認定新規就農者制度の認定を受けた新規就農者のうち、条件を満たした就農者に対し農業次世代人材投資資金を給付する(農林水産課)。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等 農林水産課 1,500千円×11人＝16,500千円		
予算額	21,750	19,500	19,500	21,000	15,000	16,500	20,250	16,500			
決算額	9,000	8,250	14,250	15,000	15,000	16,275	16,938	14,169			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
青年就農支援補助金件数	6件	7件	11件	11件	11件	12件	12件	11件			
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											
実施期間(実績)											
担当課の評価コメント	実施重点度		I								
	本市における新規就農者の数は増加傾向にあり、引き続き支援を行う。										

取組2	伝統工芸品産業産地振興事業（取組概要②）										
内容	経済産業大臣指定の伝統的工芸品である大阪泉州桐箆箆製造協同組合へ支援を行うことにより、後継者育成・確保、需要開拓、原材料確保、技術の保存を推進し、伝統工芸品産地の健全な発展を図る。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等 産業政策課 「がんばる岸和田」企業経営支援補助金（販路開拓）に統合		
予算額	160	160	160	160	160	160	160	160			
決算額	160	160	160	160	160	160	80	0			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
伝統工芸品産業産地振興事業補助金件数	1件	1件	1件	1件	1件	1件	1件	0			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											
実施期間（実績）											
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅰ								
	引き続き後継者育成などで伝統工芸品の振興を図る。										

取組概要3	②企業訪問を通して、商工業者などの担い手育成・後継者育成に係る支援ニーズを掘り起し、それに応える施策のあり方を検討します。										
取組3	セミナー参加促進(9-3)の推進										
内容	以前から近畿職業能力開発大学校等への訪問を通じて、ものづくり等に関わる人材の育成についてのニーズを把握。それを受けてH28年8月より岸和田市企業経営支援事業の「産業人材スキルアップ事業」を創設した。当該制度の周知を図るとともに、さらなるニーズの掘り起こしを行う。 【H30】 産業人材スキルアップ事業を通じ、セミナー等受講5件、講師派遣等開催2件の計7件の利用があった。 【R1】 産業人材スキルアップ事業を通じ、セミナー等受講13件、講師派遣等開催2件の計15件の利用があった。 ※「産業人材スキルアップ事業」は近畿職業能力開発大学校等の公的機関が実施するセミナーの受講費用及び当該機関から講師の派遣を受ける講師派遣料等について、一部助成(2分の1補助、上限10万円)を実施。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	500	3,000	3,000	3,500	3,500	3,500	産業人材スキルアップ事業500千円(H28) H29予算以降には、展示会出展事業補助金・産学官連携事業補助金・産業人材スキルアップ事業補助金・合同企業説明会等参加支援事業補助金を含む。なお、R1予算から産学官連携事業補助金を廃止し、創業時販路開拓事業補助金を創設。		
決算額	-	-	113	170	132	259	157	248			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
産業人材スキルアップ事業補助金件数	-	-	6件	7件	7件	15件	4件	8			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											
実施期間(実績)											
担当課の評価コメント	実施重点度		I								
	「産業人材スキルアップ事業」の周知を図るとともに、さらなるニーズの掘り起こしを行う。										

令和4年度 ワーキングA評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) スキルアップに資するセミナー等に加えて、技能検定等についても補助金の対象とできるか検討すること。

令和4年度 ワーキングB評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 青年就農支援事業、伝統工芸品産業産地支援事業ともに、引き続き実施すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針9 人材育成と雇用確保の機会提供
施策名	9-3)セミナー参加促進支援
取組概要	・事業者が社内での人材育成に係るセミナーなどを企画しやすくするため、近畿職業能力開発大学校などを活用したセミナーの受講などを紹介し、受講に関する補助制度を創設します。

取組	セミナー参加促進支援										
内容	【H27】 産学官交流プラザきしわだで実施する人材育成セミナー(11月)を紹介(3組合に訪問及び電話、企業4社に案内の電話、企業約300社にFAX送信、その他会議所報や岸ナビへの掲載、大阪産業技術研究所及び近畿職業能力開発大学校から市内外の企業へ紹介)。 【H28】 企業の人材育成のため、岸和田市企業経営支援事業の「産業人材スキルアップ事業」を創設。6件113,000円の利用があった。 ※「産業人材スキルアップ事業」は近畿職業能力開発大学校等の公的機関が実施するセミナーの受講費用及び当該機関から講師の派遣を受ける講師派遣料等について、一部助成(2分の1補助、上限10万円)を実施。 【H29】 「産業人材スキルアップ事業」で7件170,000円の利用があった。 【H30】 産業人材スキルアップ事業を通じ、セミナー等受講5件、講師派遣等開催2件の計7件の利用があった。 【R1】 産業人材スキルアップ事業を通じ、セミナー等受講13件、講師派遣等開催2件の計15件の利用があった。 【R2】 産業人材スキルアップ事業を通じ、セミナー等受講4件157,000円の利用があった。 【R3】 産業人材スキルアップ事業を通じ、セミナー等受講8件 248,000円の利用があった。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	500	3,000	3,000	3,500	3,500	3,500	産業人材スキルアップ事業500千円(H28) H29予算以降には、展示会出展事業補助金・産学官連携事業補助金・産業人材スキルアップ事業補助金・合同企業説明会等参加支援事業補助金を含む。なお、R1予算から産学官連携事業補助金を廃止し、創業時販路開拓事業補助金を創設。		
決算額	-	-	113	170	132	259	157	248	R3年度より展示会出展事業と同様、“「がんばる岸和田」企業経営支援補助金”と名称を変更し、引き続き人材育成に係る費用の支援を行う。支援内容についてもこれまでと変更なし。		
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
産業人材スキルアップ事業補助金件数		-	6件	7件	7件	15件	4件	8件			
									※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間		
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間	----->		----->		----->		----->		----->	----->	----->
実施期間(実績)	----->		----->		----->		----->		----->	----->	----->
担当課の評価コメント	今年度重点度		I								
	H28年8月に産業人材スキルアップ事業を創設した。今後さらなる制度の周知を実施していく。デジタル技術革新等、スキルアップを図るための社会人の学び直しを支援する。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) スキルアップに資するセミナー等に加えて、技能検定等についても補助金の対象とできるか検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針10 ワンストップ支援体制の充実
施策名	10-1)ワンストップ窓口の構築の検討
取組概要	①企業立地に際して関係する部署は、産業のほか、都市計画、環境、上下水道など複数にまたがるため、庁内の関係課との調整を行います。 ②産業振興に関して、市と商工会議所連携して支援に取り組む体制の構築が重要であり、場所についても、ワンストップ窓口の可否について検討します。

取組1	企業立地に関する関係課の調整(取組概要①)										
内容	岸和田市内に進出を希望する企業に対して、関連する部署・窓口の担当者を集めて対応できる体制の構築を検討する。 【H28】 地蔵浜町の土地に建築物を造ることについて、関連する部署が集まり問題点を協議した。 市内への進出を計画している企業の希望を聞き取り、関係部署間での協議を行った。 【H29】 ホテル誘致について、企業側がスムーズに進出できるよう関係部署間で協議を行った。 【R1】 ホテル誘致について引き続き金融機関等との意見交換を実施した。										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は 検討期間		
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間	----->		----->		----->		----->		----->	----->	----->
実施期間(実績)	----->		----->		----->		----->		----->	----->	----->
担当課の評価コメント	実施重点度		Ⅱ								
	引き続き検討する。										

取組2	産業振興に関するワンストップ窓口の可否(取組概要②)										
内容	【H28、H29】 先進地事例を参考にし、商工会議所担当者と協議を進め、ワンストップ体制の可否についての協議										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は 検討期間		
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間	----->		----->		----->		----->		----->	----->	----->
実施期間(実績)	----->		----->		----->		----->		----->	----->	----->
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	岸和田商工会議所と協議し、方向性を確認する。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 関係機関との連携体制を構築し、企業立地等の問合せに対し、円滑且つ適切に関係部署につなげること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針11 企業訪問の充実
施策名	11-1)企業訪問活動の推進
取組概要	①事業者との関係性構築とニーズ把握、ならびに適切な施策検討と対応を行うため、市職員による企業訪問活動を行い、情報収集に取り組みます。 ②訪問活動の際には、市職員単独の場合でなく、商工会議所や産業支援機関の所員などとも積極的に連携して訪問します。

取組1	企業訪問活動の推進(取組概要①②)										
内容	【H27】 ・販売促進セミナー情報の提供(8社) ・岸和田ブランド申請業者へのヒアリング(2社)・企業視察(5社) ・異業種交流会関係(3社)・商店経営研究会の勧誘(1社) ・平成28年3月に市内企業57社を訪問し、「中小企業小規模事業者のための支援施策集」の配布と説明会の案内を行った。 【H28】 ・岸和田ブランド申請業者へのヒアリング(3社)及び申請前ヒアリング(1社) ・異業種交流会関係(2社)・企業視察(3社) ・産業人材スキルアップ事業補助金の説明(2社) ・創業支援事業補助金利用者を訪問し、経営状況の聞き取りと市施策の案内(18社) 【H29】 ・岸和田ブランド申請事業者へヒアリング(2社)及び申請前ヒアリング(3社) ・創業支援事業補助金利用者を訪問し、市施策の案内(5社) ・3/14 松浪硝子工業株式会社へ会社見学及び情報交換(岸和田市異業種交流会主催) 【H30】 ・岸和田ブランド申請を考えている事業者へのヒアリング(3社) ・2/26 広光印刷株式会社へ会社見学及び情報交換(岸和田市異業種交流会主催) ・丸昌工業での災害避難訓練を見学。 ・キンレイ及び大阪チタニウムの工場を見学し、意見交換を行う。 ・丘陵地区企業部会への施策説明訪問(6社) 【R1】 ・岸和田ブランド申請を考えている事業者へのヒアリング(2社) ・地域産業資源への登録を目指す事業者を訪問(1社) ・各種助成制度の説明訪問(3社) ・岸和田ビジネスサポートセンター開設に向け事業者への周知訪問(25社)、郵送での周知案内(955社) 【R2】 ・各種助成制度の説明訪問(6社) ・ウーバーイーツエリア拡大に向けた事業者説明訪問(20社)、他郵送周知案内(450事業者)→3/10～市内一部対象エリア拡大 【R3】 ・各種助成制度の説明訪問(4社) ・木材港地区貯木場の利活用ニーズのヒアリングにあわせて、コロナ禍における事業活動の現況や今後の展開などをヒアリングした。 ヒアリング先:岸和田工業センター協同組合、一般社団法人大阪木材コンビナート協会、鉄工金属団地協同組合他3社										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
企業訪問件数	-	76件	29件	11件	13件	34件	26件	10件			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											
実施期間(実績)											
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	今後も機会をとらえて企業を訪問し、ニーズの把握に努めていく。また、他機関との連携した企業訪問も進めていく。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 引き続き、目的に沿って企業組合等への訪問活動に取り組むこと。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針11 企業訪問の充実
施策名	11-2) マッチングの推進
取組概要	・企業訪問活動を通じて得られた事業者のシーズやニーズを基に、大阪産業技術研究所などの支援機関や大学、企業を紹介し、マッチングに取り組めます。

取組	マッチングの推進										
内容	【H27】 ・企業から新商品である子ども用洗剤の販路開拓の相談があり、市の健康イベントと保健センターでサンプル品の配布が可能かどうかの相談を担当部署に持ちかけたうえで当該企業を紹介した。 ・コンテナ業者より、自社が抱える課題について相談があり、岸和田市異業種交流会参加事業者と共に当該企業の作業現場を確認、協議を行い、対応策を提案した(5/12)。 ・商店街の鳥害について相談があり、解決策について堺市及び大阪産業技術研究所に相談。 ・市が創業支援を行った飲食店より、インバウンドの取り込みについて相談があり、ドイツ人観光ガイドを紹介。 【H28】 ・商業団体に観光業者・飲食業者を紹介。 ・市が創業支援を行った事業者に市民活動団体を紹介。 ・大阪産業技術研究所・大阪商工会議所が進めている医工連携に参画するとともに、9/1開催のオープニングフォーラムについて市内企業・市内医療機関に情報提供。 ・岸和田市異業種交流会の取り組みについて、和歌山大学と連携について協議(1-1)。 7/27・8/8(和大サテライトと協議)、8/22(和大で産学連携センターと連携について協議) ・大阪観光大学講師に岸和田ブランド認定品の製造事業者を紹介。 ・地蔵浜みなとマルシェの情報を出版社に提供し、南海電気鉄道情報誌「NATTS」3月号に掲載された。 【H29】 ・大阪ガス(株)に(株)岸和田南宗を紹介し、味噌づくりと料理教室イベント「岸和田ごちそうさん」が実現した。 ・近畿大学学生が阪和高速道路岸和田サービスエリアでの販売促進をしたいとのことで、岸和田ブランド認定事業者及びフードスタイリストの川崎利栄氏を紹介した。 【H30】 ・大阪ガスクッキングスクールに岸和田ブランドを紹介し、認定品を使ったクッキングスクール「【旬のこだわりレシピ×岸和田ブランド】春を奏でる♪創作華和食」が実現した。 【R2】 ・Kishi-Bizを通じた事業者のマッチングの推進(11社) (事例) ・商品開発に対して独自の経験等からの意見が必要となり、福山市にある福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizにつなぎ商品開発に至る。 ・マスクに貼るシール作成について、適した事業者を探されていたため、大垣ビジネスサポートセンターGaki-Bizの相談者でもあった事業者をつなぐ。 ・特殊な糸を用いた商品展開のご相談に対して、近畿ビズネットワークを活かし、Coco-Biz(奈良県広陵町・大和高田市合同開設)のセンター長を介して、事業者をマッチング。 【R3】 ・Kishi-Bizを通じた事業者のマッチングの推進(14件)										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
他機関等への紹介件数	-	4件	6件	2件	1件	-	11件	14件			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間(実績)											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	企業情報収集を行い、マッチングにつなげていく。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) マッチングをすることによる地域内に与える影響効果について精査しながら事業を進めること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針12 支援機関の連携強化
施策名	12-1)市と個別支援機関との連携強化
取組概要	①日頃から個別の支援機関との情報交換ができるように、担当者間の交流を図ります。 ②岸和田市・岸和田商工会議所・大阪産業技術研究所・近畿職業能力開発大学校の4者による「産学官交流プラザきしわだ」や岸和田市・岸和田商工会議所・池田泉州銀行の3者による「産業振興連携協力に関する協定」を活かして、連携強化のための事業を推進します。

取組1	市と個別機関の連携強化(取組概要①)										
内容	【H27】 ・MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)、大阪産業技術研究所、近畿職業能力開発大学校を訪問し、担当者間の交流を図るとともに、各支援機関の最新の支援策について確認した。 【H28】 ・大阪府ものづくり支援課を訪問し、大阪府ものづくり優良企業賞と岸和田ブランドの連携について担当者と意見交換を行った。 ・無料経営相談会を実施するため、大阪府よろず支援拠点(公益財団法人大阪産業振興機構)と調整を行った。 【H29】 ・無料経営相談会を実施するため、大阪府よろず支援拠点(公益財団法人大阪産業振興機構)と調整を行った。 ・無料経営相談会の広報のため、大阪産業技術研究所、近畿職業能力開発大学校にチラシ配架のお願いと意見交換を行った。 【H30】 ・無料経営相談会を実施するため、大阪府よろず支援拠点(公益財団法人大阪産業振興機構)と調整を行った。 ・無料経営相談会の広報のため、大阪産業技術研究所、近畿職業能力開発大学校にチラシ配架のお願いと意見交換を行った。 【R2～】 ・三井住友海上保険株式会社と包括連携協定を締結。企業マッチング促進のため、ジェグテック登録企業の内、市との連携により同社推薦を付していく。										
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
新戦略プランにおける 施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間(実績)											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	様々な機会をとらえて個別機関との連携を強化していく。										

取組2	「産学官交流プラザきしわだ」、岸和田市・岸和田商工会議所・池田泉州銀行の3者による「産業振興連携協力に関する協定」の活用（取組概要②）										
内容	【H27】 ・産学官交流プラザきしわだで人材育成セミナーを開催し、近畿職業能力開発大学校・大阪産業技術研究所それぞれの支援策を紹介（11/10）。 【H28】 ・産学官交流プラザきしわだで人材育成セミナーを開催を計画したが参加者が少なく断念した。 ・岸和田市、岸和田商工会議所及び池田泉州銀行との産業振興連携協力に関する協定による岸和田合同企業説明会の実施（8/18 市内及び近隣企業32社がそれぞれブースを設置し、来春大学等卒業予定者及び概ね34歳以下の若年求職者を対象としたところ51名が参加し、企業ブースにおける説明延べ人数は155名に登った。）及び経営講演会・ビジネス交流会（7/13 講演会参加者51名、交流会参加者47名）の開催を行った。 ・3者連携協定による協議（池田泉州銀行、商工会議所） 1/26 【H29】 ・産学官交流プラザきしわだで人材育成セミナーの開催を検討した。 ・3者連携協定による協議（池田泉州銀行、商工会議所） 10/18,1/25,2/22,3/12 ・3者連携協定による事業 ・岸和田合同企業説明会の実施。8/2浪切ホールで開催。市内及び近隣企業38社参加。来春大学等卒業予定者及び概ね34歳以下の若年求職者を対象。学生など68人参加。企業ブースにおける説明延べ人数253人。 ・企業支援メールマガジンの登録企業数の増加について目標設定を行い、登録企業数100件を達成した。 ・川淵三郎氏の講演会について3者で連携して広報を行った。 【H30】 ・3者連携協定による協議（池田泉州銀行、商工会議所） 5/1 ・3者連携協定による事業 ・岸和田合同企業説明会の実施。8/3浪切ホールで開催。市内及び近隣企業29社参加。学生など35人参加。企業ブースにおける説明延べ人数138人。 ・企業支援メールマガジンの登録企業数の増加について目標設定を行い、登録企業数180件を達成した。 【R1】 ・3者連携協定による協議（池田泉州銀行、商工会議所）5/31、12/6 ・3者連携協定による事業 ・岸和田合同企業説明会の実施。8/5浪切ホールで開催。市内及び近隣企業32社参加。学生など41人参加。企業ブースにおける説明延べ人数125人。 ・企業支援メールマガジンの登録企業数の増加について目標設定を行い、登録企業数200件を達成した。 【R2】 ・新型コロナウイルスの影響で事業実施できず。 【R3】 ・新型コロナウイルスの影響で事業実施できず。										
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	300	300	200	200	200	－	－	－	※産学官交流プラザきしわだ負担金		
決算額	91	37	21	0	0	－	－	－			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
産学官交流プラザセミナー参加者数	18人	34人	－	－	－	－	－	－			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間											➡
実施期間（実績）											➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	「産学官交流プラザきしわだ」は制度の再構築を図り、3者による「産業振興連携協力に関する協定」については引き続き連携を強化していく。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	（コメント） 「時代」や「企業」のニーズに合わせた連携の強化に努めること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針12 支援機関の連携強化
施策名	12-2)支援機関による情報共有の場の設置検討
取組概要	・市や商工会議所はもちろん、市内に立地する近畿職業能力開発大学校や和歌山大学岸和田サテライト、隣接する和泉市にある大阪産業技術研究所などの支援機関、日本政策金融公庫や池田泉州銀行などの金融機関、大阪府や国などの支援側が情報共有、情報交換できる場の設置を検討します。

取組	支援機関による情報共有										
内容	【H27】 ・MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)、大阪産業技術研究所、近畿職業能力開発大学校をそれぞれ訪問し、担当者間の交流を図るとともに、各支援機関の最新の支援策について確認した。 ・「産学官交流ブラザキしわだ」打合せ会議の開催。6/26 商工会議所・近畿職業能力開発大学校・大阪産業総合研究所で人材育成セミナー実施(12-1)の打合せ。 ・自治体地方創生ネットワークキックオフセミナーに参加。12/21 近畿経済産業局が取組んでいる「関西自治体地方創生ネットワーク」に参画。地方創生の先行事例の発表。交流会にて他自治体、金融機関等と交流し情報交換を行った。 ・岸和田創業支援ネットワーク会議(池田泉州銀行、日本政策金融公庫、大阪信用金庫、商工会議所)を開催し情報共有。4/30,8/18,12/16 【H28】 ・「関西☆しごと創生交流フォーラム」に参加。6/20 しごと創生・産業振興の特徴的な取組事例の発表。近畿経済産業局が取組んでいる「頑張る自治体応援隊」の大阪南部担当 山口氏と顔合わせ。 ・3者連携協定による協議(池田泉州銀行、商工会議所) 1/26 ・大阪府が主催する創業支援機関ネットワーク会議に出席し情報共有した。5/27,9/29,2/22 ・岸和田創業支援ネットワーク会議(池田泉州銀行、日本政策金融公庫、大阪信用金庫、商工会議所)を開催し情報共有。4/20,8/24,12/14 【H29】 ・3者連携協定による協議(池田泉州銀行、商工会議所)10/18,1/25,2/22,3/12 合同企業説明会、企業支援メールマガジン、セミナー、商工会議所70周年事業について、目標を設定し取り組んだ。 ・大阪府が主催する創業支援機関ネットワーク会議に出席し情報共有した。7/6,11/27,2/19 ・岸和田創業支援ネットワーク会議(池田泉州銀行、日本政策金融公庫、大阪信用金庫、商工会議所)を開催し情報共有。4/26,8/23,12/13 【H30】 ・3者連携協定による協議(池田泉州銀行、商工会議所)5/1 合同企業説明会、企業支援メールマガジン ・大阪府が主催する創業支援機関ネットワーク会議に出席し情報共有した。7/12、11/2、2/28 ・岸和田創業支援ネットワーク会議(池田泉州銀行、日本政策金融公庫、大阪信用金庫、近畿大阪銀行、商工会議所)を開催し情報共有。4/18、8/22、12/19 【R1】 ・3者連携協定による協議(池田泉州銀行、商工会議所)5/31、12/6 合同企業説明会、企業支援メールマガジン ・大阪府が主催する創業支援機関ネットワーク会議に出席し情報共有した。12/23 ・岸和田創業支援ネットワーク会議(池田泉州銀行、日本政策金融公庫、大阪信用金庫、関西みらい銀行、商工会議所)を開催し情報共有。4/17、8/21、12/17 【R2】 ・大阪府が主催する創業支援機関担当者講習会(WEB開催)に参加。11/13 ・岸和田創業支援ネットワーク会議(池田泉州銀行、日本政策金融公庫、大阪信用金庫、関西みらい銀行、商工会議所)を開催し情報共有。4/17(書面)、9/3、2/17(書面) ・わだい岸和田サテライトを訪問し、岸和田の特産品(岸和田ブランド認定品)についての情報交換を実施した。 【R3】 ・岸和田創業支援ネットワーク会議(池田泉州銀行、日本政策金融公庫、大阪信用金庫、関西みらい銀行、商工会議所)を開催し情報共有。(5/12、7/20)										
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	予算内容等		
予算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
決算額	-	-	-	-	-	-	-	-			
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間		
支援機関情報共有・情報交換件数		5件	5件	7件	4件	3件	2件	2件			
創業支援ネットワーク会議件数		3件	3件	3件	3件	3件	3件	2件			
新戦略プランにおける施策スケジュール	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画実施期間	―― ――― ➡										➡
実施期間(実績)	―― ――― ➡										➡
担当課の評価コメント	今年度重点度		Ⅱ								
	大阪府や国などの支援側が情報共有・情報交換できる場への積極的な参加を進める。										

令和4年度 ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 支援側が企業に対する一般的な支援策等を共有して話し合うなどの場を検討すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--